

子育てや介護を
ひとりぼっちにしない古賀市に！

活動報告

おおがふみこ
古賀市議会議員 **大賀文子**



令和 8 年度予算決定！

一般:305 億円
国保:57 億円
後医:13 億円
介保:47 億円

- ・学校教育の少人数学級を堅持
- ・小学校の給食費無償化
- ・学校給食の公会計化



子どもに関わる大人の人材育成事業

子育ての社会化が進む事業として評価します。講座の実施を単年度行う事業ですが、今後、子育ての社会化をより広げるきっかけになることを期待します。

基幹相談支援センター事業

障がい者生活支援センター「咲」が、「基幹相談支援センター」に変わります。障がい者相談支援事業・成年後見制度利用支援事業など、家族を含めて相談・助言・指導その他の支援や関係機関との連携の緊密化を図ります。

障がい者の相談支援体制が充実し、当事者や家族の拠り所となることを期待します。

医療機関の初診から障がい者が固定し障がい者手帳の交付を受けるまでの期間は、ご本人ご家族にとって不安定で辛く目まぐるしい期間となります。障がい者福祉の制度にたどりつき、さらに障がい者が制度を安心して利用できるよう期待し、あらゆる相談を受けるセンターが設置されることを歓迎します。

その他

古賀駅周辺開発や公共交通維持推進など、長期的に大きな財源が必要な事業も抱えています。人口 6 万人に届かない古賀市で、自主財源は限られております。国や県からの補助金を積極的に確保する対策がなされていることを、予算案にて認めました。

クロスパルこが指定管理者決定

クロスパルこがの指定管理者は、3月末をもって契約更新時期でしたが契約者決めに難航していました。議会に入札の様子は報告されており、水泳授業も心配していました。

最悪、指定管理者が決まらなければ4月1日にクロスパル閉館の危機にありました。施設を維持・管理・運営するために、必要かつ妥当な指定管理料が設定できていなかったかも知れません。最終的に、9億円で新しい指定管理者を決定することができました。

4月から何事もなくクロスパルは利用できていますが、指定管理者の仕組みは今後も注視する必要があります。



非核三原則の堅持と核兵器廃絶を求める意見書提出に関する請願 不採択(賛成 8 人:反対 10 人)

核兵器の抑止力による世界平和などあり得ません。危うい世界に真の平和を呼びかける、被爆国日本であって欲しいと考えます。そのための、非核三原則であり核兵器禁止条約です。地球から核兵器を廃絶するための市民の訴えを応援していただきたいと呼びかけましたが、賛成少数で意見書は不採択となりました。

大賀文子 政務活動費収支報告(仮)

R7 年度は、主に書籍による学習に使用しました。資料購入費は、書籍 8 冊です。無農薬農法の資料、国土学、社会科学、市民運動など、まちづくり政策の視野を広げるため学びました。

そのほか、事務費として政務活動に必要な文房具を購入しました。

収支報告の詳細は、古賀市の決済後、市ホームページで公開されます。

R7 年度収入	120,000
資料購入費	20,264
事務費	11,065
古賀市へ返金	88,671

住んでるまちを 住みたいまちに！

ネット古賀は、女性の声、生活者の声でまちを変えるために、議会に女性を送り出す運動をしています。

ネット古賀の議員は、市民の代理人です。議員を使って、もっと住みたいまちにしていこう！

運営委員募集中！

毎月 1 回ミーティング、調査や研究、しゃべり場などを開いています。

ネットを応援してください！

年会費:1,500 円

ニュース配布ボランティア:年 4 回



ふくおか市民政治ネットワーク・古賀 第36回通常総会

令和7年度の振り返りと、令和8年度の活動に向けて、全ての議案を承認いただきました。



古賀市議選まであと1年、会員のみなさんから叱咤激励を頂きました。

応援の言葉と、おいしい差し入れをありがとうございました。これからも、市民政治を広げる活動を頑張ります。

ネット・古賀運営委員会一同